

## 情報公開文書

研究の名称	内視鏡検査施行時の鎮静剤使用に関する安全性の調査
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	光学医療診療部 藤浪 斗
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2022年4月4日より2024年3月29日までに富山大学附属病院において上部消化器内視鏡検査・下部消化器内視鏡検査を受けた方を対象とします。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 内視鏡検査・治療時に苦痛なく受けていただくために鎮静剤を使用しますが、鎮静剤の影響が残り検査後もふらつきが生じます。当院では安全に内視鏡検査を受けていただくため、鎮静剤使用後の患者様には「回復スコア」で退出の可否を判断しています。これまで行ってきた「回復スコア」の有用性の検証のため、下記項目について調査します。</p> <p style="padding-left: 2em;">退出許可後に起きた鎮静剤に起因する偶発症の発生内容・頻度</p> <p style="padding-left: 2em;">鎮静剤の種類と回復スコアの関連</p> <p style="padding-left: 2em;">鎮静剤の投与量と回復スコアの関連</p> <p style="padding-left: 2em;">鎮静剤使用患者数・患者割合の推移</p> <p><b>【研究の方法】</b> 当院の内視鏡システムから別途定める項目を抽出し、電子カルテに保存されている覚醒スコアを収集し、各種分析を行います。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ~ 2025年3月29日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 研究にあたっては、個人を特定できないように個人情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	<p>・研究に用いる情報は、検査日、年齢、性別、内視鏡の種類、鎮静剤の種類、鎮静剤の投与量、検査時間、鎮静後内視鏡室滞在時間、覚醒スコアです。 (本データを他機関へ情報提供することはありません)</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者	富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail : haruka52@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗</p>